

京葉銀行で始めるNISA

トナリのあの人にはもう始めている？ 初めての投信積立と新NISAの活用

～「楽天インデックス・シリーズ」は、世界最大級の資産運用会社であるバンガード社のETFに投資するインデックス・シリーズで、当シリーズの純資産総額合計は2.1兆円（2024年7月31日現在）を超え、多くのお客さまからご支持いただいております。～

Seminar 1

「楽天インデックス・シリーズ」の 人気の2ファンドをご紹介します

日時：2024年10月9日（水） 19:00～19:40

「楽天インデックス・シリーズ」のファンドのうち、
人気ファンドの特徴・概要をご説明します。

積立投資の有効性、NISAのメリットを
分かりやすく解説します。

Seminar 2

「楽天インデックス・シリーズ」 こんな人にはこのファンド！

日時：2024年10月16日（水） 19:00～19:40

「楽天インデックス・シリーズ」のファンド
のラインナップをご紹介します。

ファンドの違いを理解して
資産運用に役立てましょう。

各回ともお見逃しなく！！
お申し込みはこちら



QRコードもしくは以下からお
申し込みください。
https://www.keiyobank.co.jp/individual/seminar/online_seminar/

■お申し込み・投資信託説明書（交付目論見書）のご請求は

京葉銀行

商号等：株式会社京葉銀行
関東財務局長（金商）第56号
加入協会：日本証券業協会

■設定・運用は

Rakuten 楽天投信投資顧問

商号等：楽天投信投資顧問株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第1724号
加入協会：一般社団法人投資信託協会、
一般社団法人日本投資顧問業協会



オンラインセミナーの詳細

セミナーでは、資産形成・NISAのポイントや投資信託の仕組みに加えインデックスファンドの商品内容などをお伝えします。

こんな方にご視聴いただきたいセミナーです

投資になかなか踏み出せない方
どのファンドを選ばいいのかわからない方
他の人がどうしているのか気になっている方

※上記はあくまでも一例です。

※やむを得ない事情等により、セミナー自体を取りやめる可能性もございます。その場合、事前にご連絡いたします。※インターネットの混雑状況、また、お客さまのパソコンの状況等によってご視聴いただけない場合がございます。ご理解の上、ご参加いただけますようお願い申し上げます。※予定しているプログラムが予告なく変更される場合や、セミナーの終了時間が多少前後する場合がございます。※セミナーにおいて、弊社のサービス・金融商品等の勧誘をすることがあります。※インターネット回線の利用に伴う通信料は、自己負担とさせていただきます。※当資料は、オンラインセミナーの概要について投資家のみなさまにご紹介するために作成したものです。ファンドの商品性や投資リスク、お申し込みメモなどについては投資信託説明書（交付目論見書）をご確認ください。【ご留意いただきたい事項】を必ずご確認ください。

※販売会社により取り扱いが異なる場合があります。くわしくは、販売会社にご確認ください。

投資リスク

<基準価額の変動要因>

ファンドがマザーファンドを通じて実質的に投資する投資信託証券に組入れられた有価証券等（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）の値動きにより、基準価額は変動します。**投資信託は預貯金と異なります。**投資信託財産に生じた**利益および損失は、すべて受益者に帰属します。**投資家のみなさまの投資元本は保証されているものではなく、**基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。**投資家のみなさまには、ファンドが有するリスクについてご理解のうえ投資判断をしていただくようお願いいたします。

基準価額の変動要因については、次の通りです。

価格変動リスク／株価変動リスク／金利変動リスク／為替変動リスク／流動性リスク／信用リスク／カントリー・リスクなどがあります。

上記リスクはファンドによって異なります。なお、上記のリスクの他にその他の留意点があります。くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

ファンドの費用

購入時手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。
運用管理費用（信託報酬）	信託報酬の総額は、計算期間を通じて毎日、投資信託財産の純資産総額に年0.132%（ 税抜0.12% ）の率を乗じて得た額とします。 ※ファンドの運用管理費用（信託報酬）は日々計上され、毎計算期間の最初の6ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了時に投資信託財産中から支弁します。 ※ファンドにより運用管理費用は異なります。くわしくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。
その他の費用・手数料	租税、監査報酬、信託事務の処理に要する諸費用等も原則として投資信託財産から支弁されます。その他の費用等については、運用状況により変動するものであり、事前に料率や上限額を表示することができません。

*費用・手数料等の合計額は、保有期間や運用の状況などに応じて異なり、あらかじめ見積もることができないため表示することができません。

※ くわしくは投資信託説明書（交付目論見書）の「お申し込みメモ」、「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

<ご留意いただきたい事項>

●当資料は楽天投信投資顧問が作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。●ご購入の際は最新の投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。●投資信託は値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替変動リスクを伴います。）に投資しますので基準価額は変動します。したがって、投資元本や利回りが保証されるものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。●投資信託は預貯金や保険契約とは異なり預金保険機構および保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。また、証券会社以外でご購入いただいた場合は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。●当資料は言頼できると判断した各種情報等に基づき作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、今後予告なく変更される場合があります。●当資料中の図表、数値、その他データについては、過去のデータに基づき作成したものであり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。●当資料におけるシミュレーションは一定の条件に基づいた場合の結果を表したものです。また、シミュレーションの結果は、将来の運用成果を約束するものではありません。実際のポートフォリオがモデルまたは想定に沿った形で構築され、運用されるという保証はありません。実際の結果は、提示されたポートフォリオ、あるいは想定されたポートフォリオとは、大幅に異なる場合があります。

お申し込みにあたっては、必ず投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。